

地方から世界へ！！

学術機関リポジトリが歩み始める



国立大学法人
福島大学
Fukushima University

学術機関リポジトリとは

- 大学等の研究機関において生産された学術論文等、さまざまな教育研究成果を機関内に設置したリポジトリサーバに収集・蓄積し、無償で公開する情報発信基地。
- すでに国内で66大学が公開中。
(試験運用を含む)
- 世界では約800機関が公開中

福島大学

学術機関リポジトリの目的

- ・大学が確保しておくべき多様な学術コンテンツの中で、とくに大学の教育研究活動の成果である学術情報の収集、保存、その組織化及び発信のための仕組みとして、近年「学術機関リポジトリ」が注目され、その構築が急務の課題となっている。
- ・学内の知的生産物を収集、統合し、地域に向けて開示することは大学の責務の一つ。

福島大学

学術機関リポジトリの特徴

- 学内で生産される教育研究成果の一元的
管理と発信
- 総合教育研究センターと連携した現職教員
支援
- 授業実践映像の活用

リポジトリを活用するメリット

大 学

- ・ 社会に対する説明責任の遂行
- ・ 大学のブランド力の向上
- ・ 教育研究成果の一元的、永続的保存
- ・ 産学連携・地域貢献の推進
- ・ 学術情報の管理コストの削減

学内の研究者

- ・ 研究成果の新たな発信ルート確保
- ・ 研究成果の効果的発信
- ・ 研究成果のアピールの向上
- ・ 研究に対する認知と理解の向上
- ・ 論文の被引用率アップ

地域社会

- ・ 大学の研究動向がわかりやすくなり、産業・教育など、広い分野で研究の活性化
- ・ 地域の研究者による研究がスピードアップ

学術機関リポジトリ

学 協 会

- ・ 認知度と知名度の向上
- ・ 購読者層の拡大

リポジトリの仕組み



福島大学学術機関リポジトリ運営体制

—全学的学術情報収集・組織化・保存・発信に向けて—

(全学設置委員会)

情報メディア委員会

IR推進基本事項
決定

学術・教育情報専門委員会

IR作業部会要項
IR運用要項
IR運用指針の策定

大学院

人間発達文化学類

行政政策学類

経済経営学類

共生システム理工学類

リポジトリ推進に向けた作業部会の設置

IR推進部会

任務

- ・IR推進のための企画
- ・広報及び啓蒙啓発活動

IR学術コンテンツ部会

任務

- ・研究成果等の収集
- ・学術コンテンツ登録及びメタデータ作成
- ・著作権処理

総合情報
処理
センター

IR
システム

附属図書館

デジタルコンテンツ
研究成果

IRシステム構築・運用部会

任務

- ・IRシステムの構築及び運用
- ・研究成果の保存及び発信

保健管理
センター

生涯学習
教育研究
センター

地域創造
支援
センター

総合教育
研究
センター

福島県教育
センター



リポジトリに登録するコンテンツ

【研究の成果】

- 学術雑誌掲載論文
- 修士論文、博士論文
- 科学研究費報告書
- 紀要論文
- 学会発表資料
- プレプリント

【教育の成果】

- 講義資料
- シラバス
- 教材
- 授業実践映像

...etc

教育研究成果の提供は 電子メールで送るだけ！

- 教育研究の成果は、ご自分の研究室からメールでお送りください。
- ファイルの形式は問いません。
- 送付していただいた論文は、図書館で著作権上の確認を行い、リポジトリに登録して公開いたします。

登録までの流れ

メタデータの登録
登録支援
登録の可否

登録

福島大学
学術機関
リポジトリ

公開

出版社

著作権確認

研究成果送付

図書館

教員

著作権許諾



学術論文の登録には 著者最終版をご提供ください

- ・学術雑誌に投稿した論文には、著者版（著者の手元にある原稿）と、出版社版（出版社が編集・レイアウトしたもの）があります。多くの出版社では、著者版での公開を認めています。
- ・著者版のうち、査読が済み掲載許諾を受けた最終原稿が「著者最終版」です。

リポジトリについての問合せ先

◆リポジトリに関すること

学術情報グループ(内線2618)

◆システムに関すること

情報基盤グループ(内線2685)

リポジトリの取り組み(H17)

- 5/24 学術・教育情報専門委員会
(学術情報に関わる課題について)
- 7/13 情報メディア委員会(専門委員会報告)
- 11/9 学術・教育情報専門委員会(学術機関
リポジトリ設置構想-WGの設置)
- 12/26～ 学術機関リポジトリWG
- 2/28 学術・教育情報専門委員会(WG報告)
- 3/9 情報メディア委員会(専門委員会報告)

リポジトリの取り組み(H18)

- 5/22 役員懇談会(学術機関リポジトリの構築
について—CSI委託事業報告了承)
- 6/6 図書館運営委員会(CSI委託事業)
- 7/11 図書館運営委員会(CSI委託事業報告)
- 8/25 情報メディア委員会(IR構築について)
- 10/2 学術コンテンツ作成開始(紀要等の電子
化)

リポジトリの取り組み(H18)

- 1/17 情報メディア委員会(規程整備)
- 1/19 図書館運営委員会(委託事業関係報告)
- 2/6 学術・教育情報専門委員会(規程・体制)
- 3/5 役員会(「福島大学学術機関リポジトリ」
の構築)
- 3/6 教育研究評議会(同上)
- 3/ 情報メディア委員会(規程整備)

リポジトリの取り組み(H19)

- 4/16 役員会(附属図書館の理念と目標)
- 4/17 教育研究評議会(同上)
- 4/26 情報メディア委員会(19年度の課題)
- 4/26 学術・教育情報専門委員会(規程の改正、IR推進日程)
- 5/22 図書館運営委員会(IR作業部会メンバー選出、19年度課題確認)

リポジトリの取り組み(H19)

- 6/25 リポジトリパンフレット配布
- 7/5 学術・教育情報専門委員会(作業部会メンバーの確認)
- 7/5 IR作業部会合同会議(学術機関リポジトリの推進)
- 7/25 福島大学学術機関リポジトリ講演会
(講師:佐藤義則東北学院大学教授)

リポジトリの取り組み(H19)

- 8/2 IR学術コンテンツ部会(学術コンテンツの確定)
- 9/18 役員会(IR構築のスケジュール)
- 9/18 教育研究評議会(同上)
- 10/16 IR作業部会合同会議
- 10/16～各学類長、センター長へIR登録要請
- 10/22 IR名称・愛称募集開始

リポジトリの取り組み(H19)

- 10/24 行政社会学会との懇談会
- 10/25 IR登録著作権許諾手続き開始
- 10/30 コンテンツ登録開始



- 12月 試験公開
- 12月 本公開に向けた広報活動
- 1月 学類教員会議での説明会
- 2月 本公開

先生方の

ご理解とご協力を

お願いいたします。